

小学4年1組 外国語活動学習指導案

指導者 加藤君江 鶴原 渡
ALT シャーデーネ・ウイリアムズ

1 単元名 ～ My original book ～ 伝えようマイストーリー

2 単元のねらい

自分が英語を使って作った絵本の読み聞かせを、下学年に行うという相手意識や目的意識を設定することで、必要な英語の語彙や表現を工夫しながら相手に伝えようとする。

3 授業の構想

(1) 本学級の子どもたちは、3年生の時より年間17時間の外国語活動を行っている。単元3時間から4時間の単元を組み、単元の終末には慣れ親しんだ英語の語彙を使ってコミュニケーション活動を行う活動を設定してきた。また、“Hi, friends!”を基にして各学年の実態に応じた単元の工夫を行っている。次期指導要領では“Hi, friends!”をもとにして3, 4年生の単元が組まれる。本学校園ではこの3年間3・4年の活動が5・6年の指導要領で示される内容にどのように繋がっているのかを意識して単元を組んできた。本単元は“Hi, friends!1 Lesson4 I like ～.”の食べ物の語彙, “Hi, friends!1 Lesson7 What do you want?”の“What do you want?”の使用表現, “Hi, friends!1 Lesson8 I study Japanese.”の曜日の語彙に繋がる。高学年の活動を意識しながら3・4年生でたくさん語彙に触れておき, 6年生で行うコミュニケーション活動をより円滑に行えるようにしている。また, 3・4年生の発達段階にあった活動を仕組むことで子どもたちは, 自信をもってはっきりとした声で英語を発話したり, 英語を使って相手に伝えようとしたりする姿が見られるようにする。そして, 常に単元構成を組むときには, 相手意識や目的意識を明確にした活動を行っている。

- | |
|---|
| 1 時間目：今日は楽しかったので、3年生に見せるときも楽しくできるとよいと思いました。 |
| 2 時間目：今日は楽しかったので、3年生に見せる日が楽しみになりました。3年生がスマイルになるとよいなあ。 |
| 3 時間目：いろいろな動物の発音が簡単でした。もしかして英語になれた？ |
| 4 時間目：3年生に読み聞かせをするために英語になれて言えるようになった。(児童A) |

上記のふりかえりは、1学期にブラウンベアの絵本を基にして色と動物の言語材料を入れたオリジナルブックを作り、3年生へ読み聞かせをする活動の毎時間のふりかえりカードに書かれたものである。自らが学習活動を振り返ることにより、主体的な学びにつながるよう取り組んできた。

(2) この単元では“THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”の絵本における英語のフレーズの繰り返しの表現を参考にしながら、自分の考えたオリジナルブックを作り、ペア学級の3年生に読み聞かせをする設定をした。単元導入時に、単元の終末の活動は3年生に“THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”を基にしてオリジナル絵本を作り、英語で紹介する活動を行うことを知らせる。相手意識や目的意識を単元の導入時にもたせたり、1時

間1時間の振り返りの視点にしたりすることで、様々な活動が単なるゲームで終わるのではなく、常に「3年生に読み聞かせを行うためには・・・」という追求意欲を高めていくことに繋げたい。

また、“THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”の絵本は身近な食べ物や曜日の語彙，“～,but he was still hungry.”という繰り返しのフレーズがあり、英語をインプットしやすく、アウトプットもしやすいと考える。他教科との関連という視点からも3年生のときに、昆虫の育ち方や食べ物について学習してきたことや、昆虫が大好きな3年生には興味をそそる題材であると考えます。

さらに、今回の授業では資質・能力を身に付ける1つの手立てとして、小中連携授業も取り入れる。単元の終末を意識させることや目的意識をもたせることはもちろんであるが、中学校との交流授業を4時間目に取り入れることで、慣れ親しんだ語彙や表現を使って自己表現を豊かなものとした。本年度4年生の子どもは、3年生にオリジナルブラウンベアのお話をグループで作成し、学級みんなで3年生に対して発表することを行った。学級で協力して読むことはできていたが、工夫して相手にしっかり伝えられるはずの学級の実態から「もっとこうできたはず」「もっと伝わったはず」と自分たちの力が100%3年生に伝わったとは思っていない。しかし、この思いは次へとつながるよい機会ととらえている。本来なら4年生同士でどのようにしたらより3年生につたわるかアドバイスをし合う時間を設定するが、本年度は中学生の読み聞かせの単元と合わせて、4年生の読み聞かせを中学生に対して行い、中学生にアドバイスをもらう。また、中学生の読み聞かせを聞いた上で、下学年へどのように読み聞かせを行ったらよいのかじっくりと考え、アドバイスを参考にしながらよりよい活動の場へとつなげていきたい。

4 展開計画（全4時間 本時1/4）

時	主な学習と具体的な学習・内容	◇願う子どもの姿
①	○活動の見通しをもち、曜日や食べ物の英語での言い方に慣れ親しむ。 ・相手意識や目的意識を子どもと一緒につくる。 ・絵本の読み聞かせを聞きストーリーの流れを知り、曜日や食べ物の英語を言ったり聞いたりする。	◇“THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”のお話を聞いて単元の見通しをもち、相手意識や目的意識を明確にし、曜日や食べ物の英語を言ったり聞いたりする姿
2	○曜日や食べ物の英語に慣れ親しむ。 ・曜日の歌を歌う。 ・ラッキーカードゲームを行いながら“What do you want?”“I want ～, but he was very hungry.”の表現や食べ物の語彙を言ったり聞いたりする。	◇曜日や食べ物の英語を言ったり聞いたりする姿 ◇使用表現に慣れ親しんでいる姿 ◇必要な語彙に慣れ親しんでいる姿
3	○オリジナルブックを作成するために、使用表現に慣れ親しむ。 ・What do you want?”“I want ～.”の表現を言ったり聞いたりしながら食べ物のカードを集める。 ・曜日の歌を歌う。 ・AとBグループに分かれて欲しい食べ物のカードのやり取りを行う。	◇自分が欲しい食べ物のカードのやり取りしながらオリジナルブックを作成している姿 ◇やり取りの使用表現に慣れ親しんでいる姿
4	○中学生との交流を行いながら絵本の内をよりよく伝えるための工夫を考え読む。（小中連携授業） ・中学生の絵本の読み聞かせを聞く。 ・自分たちの絵本を読む。 ・アドバイスをもらいよりよく伝えるための工夫を考える。	◇中学生のお話をしっかりと聞く姿 ◇中学生の読み聞かせのよさに気付く姿 ◇絵が見えるように指で指し示しながらはっきり読んでいる人がいたのでわかりやすいと気付く姿 ◇3年生が喜んでくれるように読みたいと願う姿

絵本の一部の作成・絵本の紹介は短時間学習で行う。週3として計算し1時間扱いとする。

5 本時の学習

(1) ねらい

活動の見通しをもち、曜日や食べ物、虫を英語で言ったり聞いたりしようする。

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と願い・評価
<p>1. 挨拶をする。 Good morning / How are you? / I am～.</p> <p>2. 指導者の一週間の話を聞く。 ・ It is Friday today. I am not hungry today. I ate one cake on Sunday. But I was still hungry. I ate two cakes on Monday… But I was still hungry. I ate five cakes on Thursday. I am full today.</p> <p>3. “THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”の絵本の読み聞かせを聞く。</p> <p>4. “THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”の真っ白な絵本を見てこれからの活動の見通しをもつと共に相手意識と目的意識を明確にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちよく外国語の学習にむかえるようにする。英語で気持ちを聞くことにより指導者の一週間の話につなぐ。 ・ 指導者の話がこれから単元を通しての活動にもつながるので丁寧にわかるように話をする。また、ここで絵カードを提示しながら“THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”の絵本の読み聞かせにつなげるようにする。 ・ 子どもと一緒に読むように促す。子どもが絵本の世界に引き込まれるように表情や読み方を工夫する。難しい語彙についてはジェスチャーをする。 ・ 以前おこなった経験を基にしながら相手意識や目的意識を明確にしていく。“THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”の話の内容からどんな語彙をインプットしていくかも子どもの言葉から引き出す。 ・ 単元のゴールを子どもの思いに沿ってつくり、共有することで活動の見通しがもてるようにする。
<p>活動の見通しをもち、曜日や食べ物、虫を英語で言ったり聞いたりしよう</p>	
<p>5. クイズを行う。 ・ There was some food in this picture book. What is that? watermelon/orange/strawberry/cupcake/sausage cheese …</p> <p>6. 曜日の歌を歌う。 Sunday/Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/Friday Saturday/</p> <p>7. キーワードゲームをする。 ・ 犬とホットドッグの役割になって行う。</p> <p>8. マッチングゲームを行う。 ・ 曜日と虫の絵カード2枚選びマッチングさせる。 Let's find the same thing with a choice of two pieces of cards. Let's think about what we choose in a group.</p> <p>9. 本時のふりかえりをパスポートに記入し発表する。 ・ ペアの子が楽しむような絵本にしたいな。 ・ たくさんの食べ物の英語を覚えたいな。 ・ ペアの人にわかるように英語を話したいな。</p> <p>10. 挨拶をする。 ・ Thank you Kato sensei and Tsuruhara sensei.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本に出てきた食べ物をクイズに出すことで食べ物の英語での言い方を再確認する。 ・ 曜日の歌を歌うことで曜日の言い方に慣れる。歌い始めの曜日の順番を変えることで楽しみながら活動できるようにする。 ・ 発話しにくい児童のそばについて見守り、必要なときは声かけをする。 ・ グループで相談する時間を設定する。カードをめくったときに全体で語彙を確かめて進める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価の観点（慣れ親しみ）</p> <p style="text-align: center;">活動の見通しをもち、曜日や食べ物、虫の英語を言ったり聞いたりしている。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法 発言・行動・観察・ふりかえりパスポート】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本にしたい虫を考えておくように伝えたり、英語を使って授業ができたことを価値づけたりして次につなげる。 ・ よりかかったところや素敵な姿を価値づけながら気持ちよく1時間を終えるようにする。

